

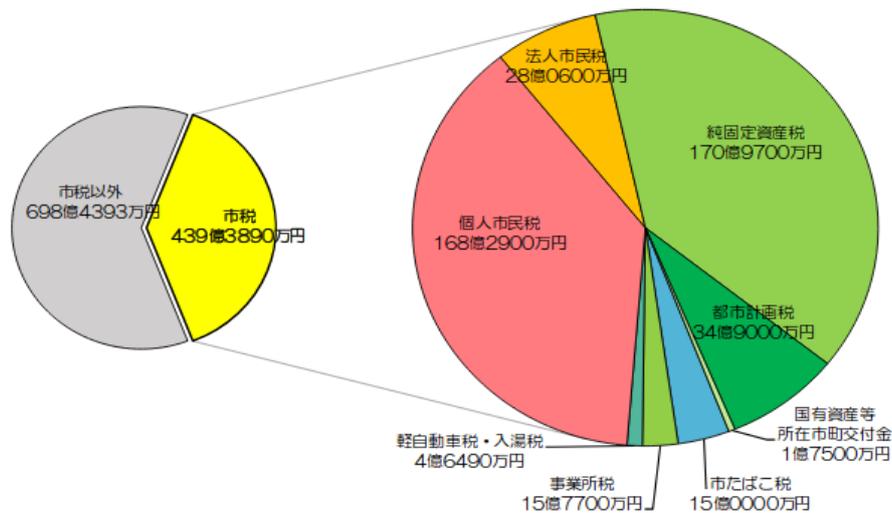
明石市における市税の概要

1 予算と市税

2020年度の明石市の一般会計当初予算は約1,138億円であり、うち市税収入は約439億円で、歳入全体の約39%を占めている。

2 市税の内訳

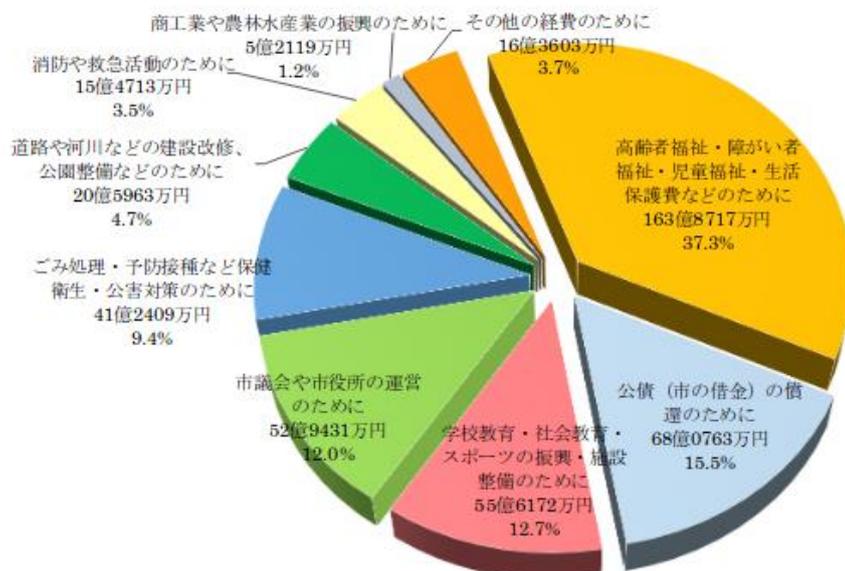
市税の中で割合の高いものは、個人市民税と固定資産税・都市計画税で、全体の8割以上を占めている。そのほかの市税には、法人市民税、市たばこ税、事業所税、軽自動車税、入湯税などがある。



3 市税の使途

市税は、福祉や教育、衛生など、さまざまな行政サービスの経費に充てられている。

市税総額 439億3,890万円



4 普通税と目的税

市税は、普通税と目的税に分類される。

○普通税・・・原則として、市が行う全ての事業に対して使うことができる税

【例】個人の市民税、法人の市民税、固定資産税など

○目的税・・・都市環境の整備や土地の区画整理など、市が行う特定の事業に対してのみ使うことができる税

【例】都市計画税、事業所税、入湯税

5 事業所税について

(1) 概要

事業所税は、人口 30 万以上の都市等において、都市の行政サービスと所在する事業所等との受益関係に基づき、道路や公園、緑地など都市環境の整備及び改善に関する事業に要する費用に充てるため、課税される目的税である。

(2) 用途

- ① 道路、都市高速鉄道、駐車場その他の交通施設の整備事業
- ② 公園、緑地その他の公共空地の整備事業
- ③ 水道、下水道、廃棄物処理施設その他の供給施設又は処理施設の整備事業
- ④ 河川その他の水路の整備事業
- ⑤ 学校、図書館その他の教育文化施設の整備事業
- ⑥ 病院、保育所その他の医療施設又は社会福祉施設の整備事業
- ⑦ 公害防止に関する事業
- ⑧ 防災に関する事業 など

(3) 明石市における用途（令和元年度決算）

用途	充当額（千円）
道路・公園等整備事業	567,338
廃棄物処理施設等整備事業	285,186
学校・図書館等整備事業	595,497
社会福祉施設等整備事業	60,499
防災等その他の事業	180,408
合計	1,688,928